

小林ぜんいち は取り組んでいます

これまで取り組んできました

- 新型コロナワクチン接種「中野モデル」発想から推進
- 新型コロナワクチン接種「高齢者予約支援」区民活動センターへ設置推進
- コロナ患者への配薬サービス推進
- 子育て支援非課税措置強化推進
- 保育園の病児病後児保育推進
- 中野東中学校施設複合化と児童相談所設置推進
- 中野区立総合体育館・平和資料展示室設置推進
- LGBTQ、中野区パートナーシップ宣誓制度創設推進
- 中野五差路右折車線改修工事推進
- スタンドパイプ設置推進
- 地域と学校区への防犯カメラ設置推進
- 特殊詐欺防止「自動通話録音機」導入と設置推進

実現

食材費等の物価高騰に伴う小中学校の給食費補助

公明党議員団は、地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰に伴う学校給食の負担軽減を実施するよう要望してきました。9月の中野区議会では給食費支援の補正予算が成立し、給食費補助が実現します。



認知症予防の無料検診 中野区もの忘れ検診

9月よりスタート

中野区もの忘れ検診がスタートしました。医師の問診をもとに認知症の早期発見や、早期対応につなげられます。

期 間：2022年9月1日～2023年2月28日
対 象：2023年3月31日時点で70～75歳の
中野区民



詳細はこちらより▶

これからもさらに取り組みます

- リトルベビーハンドブック提案推進
- 全世代型「見守りお出かけ安心キーホルダー」提案推進
- 重度障害者グループホーム施設早期建設推進
- 回復期リハビリ施設や介護老人保健施設の誘致推進

推進

高校3年生までの医療費無償化実現へ

公明党議員団は高校生までの医療費無償化の実現に向け、今年2月に中野区長に要望書を提出。6月には23区特別区町会が「所得制限なしで実施する」ことを発表しました。来々4月の実施に向けて準備が進んでいます。



コロナ禍で急増 带状疱疹ワクチン 公費助成の取組み

コロナ禍によるストレス等で带状疱疹罹患者が増えています。地方創生臨時交付金を带状疱疹ワクチンへ活用することが可能となったことから、公明党議員団は中野区長に緊急要望を行いました。带状疱疹ワクチンの公費助成実現を目指します。



小林 ぜんいち

■議会役職等

- 厚生委員会 委員長
- 情報政策等調査特別委員会 委員
- 民生委員推薦会 委員

■経歴

- (株)宮本忠長建築設計事務所
- (有)TAF 設計事務所
- 住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理、専門学校等 講師など

■所属団体等

- (社)日本建築学会正会員
- (社)東京建築士会正会員
- 福祉住環境コーディネーター協会会員
- マンションリフォームマネジャー
- 日本防災士会会員
- 早稲田大学稲門建築会会員
- 中野稲門会会員
- 中野区長野県人会副会長
- 上町町会会長

LINE Page Facebook Twitter HOMEPAGE ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

ホームページ <http://kobayashizenichi.com/>

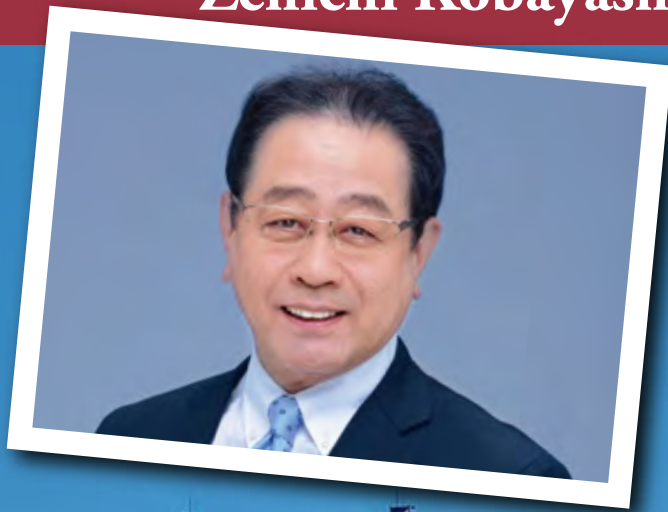
Facebook 「小林ぜんいち」で検索

Twitter 「小林ぜんいち」又は「@koba_zen」で検索

中野区議会 公明党議員団 中野区中野 4-8-1 TEL.03-3228-8875

小林ぜんいち NEWS

Zenichi Kobayashi



ご挨拶

日頃より、温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
私のモットーは、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせるまちづくりです。
そのために現場を徹して歩き、お一人おひとりのお声に耳を傾け、区政の発展に活かしてきました。
第3回定例会では、令和3年度の中野区事業の決算を中心にこれまでに区民の皆様から頂いたご意見・ご要望を基に質疑を行いました。
持続可能な中野区とは、単に財政に余裕があるだけではなく、区の政策目線が区民の生活、庶民の日々に即しているか、そして未来を見据えた施策になっているかと思っています。
新型コロナウイルス感染拡大によって、私たちの生活は一変しました。
新たに迎えたウイズコロナの時代にあっても一人を大切に、医療や福祉環境の充実、介護や育児の負担軽減、未来の宝をつくる教育や地域づくりとともに、命を守るまちづくりに全力で取り組んでまいります。

小林 ぜんいち



—— KOMMEI ——
公明党
第38号
2022年11月発行
中野区公明党議員団

中野サンプラザ前からNTTコモ中野ビル方面を望む

令和4年第3回定例会 決算特別委員会



(2022.09.21 総括質疑)

総括質疑 項目

1. 令和3年度決算について

- 1) 基金残高と将来負担額(特別区債、債務負担行為)の推移について
- 2) 予算編成方針の考え方の変更について
- 3) 今後の財政運営について

2. 中野区基本計画、中野区構造改革実行プログラムについて

- 1) 中野区構造改革の目的と「中野区基本計画の下支え」について
- 2) 中野区構造改革実行プログラムの進捗状況について
- 3) 中野区構造改革推進アドバイザーの役割と会議の議論、知見、進捗状況について
- 4) 中野区構造改革実行プログラム更新案について
- 5) 中野区構造改革実行プログラムの今後について
- 6) 中野区構造改革実行プログラムの上位計画「中野区基本計画」の進捗状況について

3. 保育行政について

- 1) 待機児童解消後の計画について
- 2) 欠員のある保育園のマッチングについて
- 3) 欠員の続く保育園の今後について
- 4) 区立・私立の今後の保育園行政の在り方について

4. その他

小林ぜんいち 令和4年(2022年) 第3回定例会 決算特別委員会から抜粋

令和3年度の決算について

小林

- 区は「中野区の財政白書」で、決算分析を、「健全性を確保している」としています。
- 令和3年度は、財政的には好調といわれています。
- 一方、財政、構造改革などで、物事を変える考え方の報告が行われています。
変えるのであれば、以前のものと比べて、変える理由、根拠は何かなどを示す必要が有ると考えます。
- そこで、伺ってまいります。

小林

令和2年度から区債(区の借金)が一気に増えた要因は何か。

答弁

平和の森小学校の移転用地及び道路用地で102億円等、合計で167億円発行したことが要因である。

今後の財政状況について

小林

基金残高(区の預貯金)と将来負担額(特別区債と債務負担行為:区の借金)の差引残額は今後どうなるか

答弁

令和4年度当初予算編成時の財政フレームでは新庁舎整備等での活用が想定され、令和5年度、6年度に全体として減となる見込みである。

小林

区債の、令和4年度から5年間の毎年の償還額はどのくらいになるのか。

答弁

今年度は14億円、5年度は18億円、6年度は38億円、7年度は204億円、8年度は51億円、5年間の総額は325億円と見込んでいる。

小林

予算編成手法の見直しにより、予算規模の増減はどうなるのか。また、財政状況を好転させることができるのか。

答弁

令和4年度は、74億円減少する。持続可能な財政運営の確立を目指していく考えである。

小林

令和5年度当初予算のシミュレーションは行っているのか。

答弁

歳入超過と予測する。

中野区構造改革実行プログラムについて

小林

具体的な効果はあったのか。また、構造改革を行わなければ生み出せなかったものなのか。

答弁

現時点では検討や取り組みの途上にあるものがほとんどであり、具体的な効果を出すまでには至っていない。また、個別プログラムは、どれも持続可能な区政運営に向けた中長期的な課題で、構造改革実行プログラムに位置付けたことで、具体的な検討を促進できた。

小林

これまでの取り組みをどう評価しているか。

答弁

これからの中長期的な取り組みによって、成果を上げる必要があると認識している。

小林

構造改革の出口戦略を想定した上で、更新の行い方を検討すべきではないか。

答弁

更新については、個別プログラムの進捗状況に応じて行うものであり、令和5年度の取り組みにつなげていきたい。

中野区基本計画について

小林

基本計画の進捗状況は。

答弁

着実に進められていると認識している。

小林

基本計画の詳細を実行する上で、構造改革実行プログラムの更新だけで進めるのか。

答弁

基本計画後期の具体的な取り組みとの整合を図り、構造改革実行プログラムの在り方についても検討していく。

小林

基本計画の見直しに、構造改革実行プログラムを組み込んでどうか。

答弁

基本計画後期へのプログラムの組み込みについては、考えを整理していきたい。

小林

●苦渋の答弁の連続でした～

●中野区基本計画、基本計画重点プロジェクト、中野区構造改革、構造改革実行プログラムなど、似たり寄ったりの計画があり、その他に重複や追記もある。

●区が働き方改革を謳うのであれば、計画の統合・一本化など、分かり易く簡素化したらどうか。
物事を変えるのであれば、「その理由、根拠は何か」、「複数の選択肢の中で、解決策として変更を決めた、選んだ理由が必要」です。また、「その先どこを目指しているのか」、「新しい事の効果は何か」示す必要が有ると考えます。

●令和3年度的好調の決算の陰には、実は、区政の熟慮の無さが、確たる方針、自信のなさ、評価・検証の甘さが表れていると私は考えます。